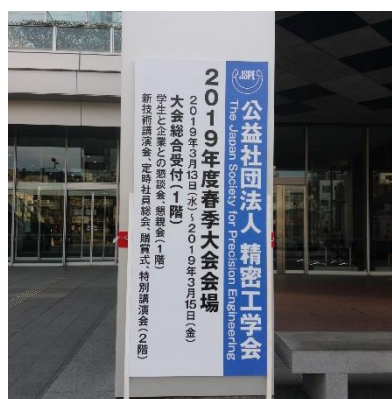
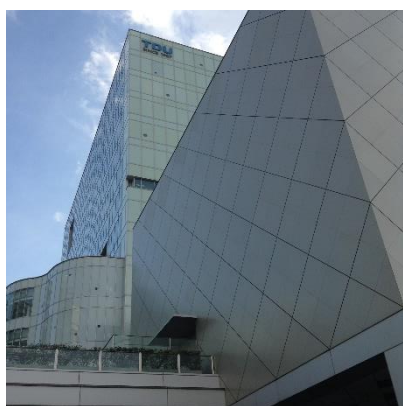


2018年度（30年度） [4] 精密測定技術に関する表彰事業

精密工学会高城賞 贈賞式 （於：2019年度精密工学会春季大会）

2019年（平成31年）3月14日（木）午後3時30分より、東京電機大学 東京千住キャンパス 丹羽ホールにて、精密工学会高城賞の表彰式が執り行われ、理事長代理で高増潔評議員が出席し、2件の論文に授与いたしました。

高城賞とは、精密工学分野で独創性に優れ、工業的価値が高いと認められる論文で、その内容が産業界全体で実施されたものを対象とし、精密工学の基礎技術分野での産業界の活動を促進することを目的として贈賞されます。この賞は論文著者個人を贈賞するとともに、それを可能とした中心的研究開発実施機関もあわせて表彰する特徴のあるものです。高城賞は、当財団に基金を出捐した創設者のうちのお一人で、精密測定技術の発展に貢献した技術者として精密工学会名誉会員であった（株）東京精密の元会長の高城誠氏の姓を冠して設置されました。



1. Super-Accurate Angular Encoder System with Multi-Detecting Heads Using VEDA Method (精密工学会誌 84 卷 8 号)

石井信行様(慶應義塾大)、谷口佳代子様(マグネスケール)、山崎和雄様(カリフォルニア大)、青山英樹様(慶應義塾大)



2. Chip control in turning with synchronization of spindle rotation and feed motion vibration (Precision Engineering Vol.53)

(敬称略)

Akihito Miyake(東京農工大), Ayako Kitakaze(シチズン時計), Seiko Katoh(同左), Masahiro Muramatsu(同左), Kenji Noguchi(同左), Kazuhiko Sannomiya(シチズンマシナリー), Takaichi Nakaya(同左), Hiroyuki Sasahara(東京農工大)